

KLX-15

Only for Adult







...ト...

ト...

ト...

ト...

ト...

ト...

ト...

ト...

ト...



てー...  
てー...  
てー...

てー...

てー...

てー...

てー...

てー...  
てー...  
てー...

てー...  
てー...  
てー...

てー...  
てー...  
てー...



「...」

「...」

「...」

「...」

「...」

「...」



ホッ

アハハハ  
お前も洗って  
あげよう

……洗って……

……洗って……



アッ

アッ

……洗って……  
アッ

……洗って……  
アッ



カキコ  
クキミ...

ミ...



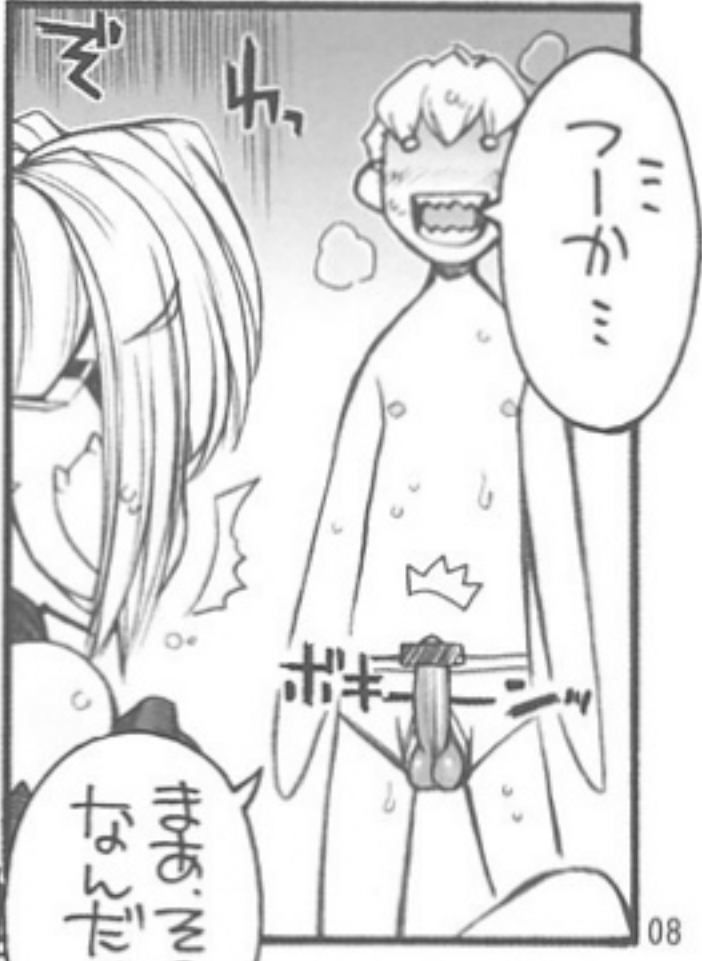
〜〜〜

クキイ  
♡



〜〜カキコ...  
アジ...

〜〜カキコ...  
カキコ...



〜〜カ...

カキコ...  
カキコ...



カキコ  
カキコ...

カキコ...

カキコ...



俺はは  
振り向いて  
くちまもしたさ...

「は...  
は...」

「は...  
は...」

「は...」

「は...」



「は...」

「は...」

「は...」

「は...」



「は...」

「は...」

「は...」

「は...」





オノ様に  
従順で...

アハハハ

ムムム...

ムムム...

アハ...

アハ



「ファンファー...」

「...」  
「...」  
「...」  
「...」

「...」  
「...」  
「...」  
「...」

「...」  
「...」

「...」  
「...」  
「...」  
「...」



おひんご  
おひんごおひんご  
おひんごおひんご

おひんご

おひんご  
おひんごおひんご  
おひんごおひんご

おひんご  
おひんごおひんご  
おひんごおひんご  
おひんごおひんご

おひんごおひんご  
おひんごおひんご  
おひんごおひんご

おひんごおひんご  
おひんごおひんご

おひんごおひんご

おひんごおひんご

おひんご

おひんご





はっ...はっ...  
はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

あー  
もっ...



はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...



「アッ...」  
「アッ...」  
「アッ...」

「アッ...」



「アッ...」  
「アッ...」

「アッ...」  
「アッ...」  
「アッ...」

「アッ...」

「アッ...」



びしょびしょ  
びしょびしょ

びしょ...

びしょ...

びしょびしょ

びしょびしょ...  
びしょびしょ...  
びしょびしょ...



びしょ...



「びしょびしょ...  
まじでびしょびしょ...  
まじでびしょびしょ...  
俺...俺...」

「びしょびしょ...  
びしょびしょ...  
びしょびしょ...」

「M6」  
「お前が何を言ってるのか  
さっぱりしないよ」

「お前...  
なにを言ってる...」

「お前さん  
お前さんが何を言ってるのか  
さっぱりしないよ」



「お前さん...  
なにを言ってる...」

「お前さん...  
なにを言ってる...」

「お前さん...  
なにを言ってる...」



「お前さん...  
なにを言ってる...」

「この最中  
手付かずなMINIな相  
出さぬ...」  
「ホントはナク事...」

「...  
従属な状況  
居るに於いて...」

「貴方に愛する  
ロシアンに  
虫酸が走ります...」

「この従属的  
関係に於いて...」

「貴方が私を支配し続ける  
唯一から最大の担保である  
「貴方がニオコへの精神的  
肉体的尻書を加える  
可能性」...」

「この可能性は最大に  
自らに放棄しなすべし  
当然ながら貴方の私への  
優位性は全くな  
す...」

「...  
「この間大抵  
強固な状況  
に於いて...」

「...」

「...  
「この状況は  
貴方に有利な  
状況に於いて...」



アムリ、  
貴方は私の  
過失と、ミオニへの  
思いを付け込み、

あ…

なるま…

31万5000秒に渡り、  
私の身体機能を  
弄って来ますよ。

アムリ



…  
そんな中、教度  
性的な絶頂に  
致らされたのは、私と  
しても不覚の至り  
ですが…

自語ってます。

現時点以降、  
ミオニと私に  
干渉して来ますよ…



「直ぐ下り」

「殺害します。」

カ



「微笑お  
コスモスを  
見たのは

「...  
目視映像を  
記録・保存中  
...」

「これが  
最初で  
最後です」



翌日

「アムニ君」



「アムニ君  
アムニ」

「...あ...」

「アムニ君」

「あ」

「アムニ君  
アムニ君  
アムニ君」



ムムムム  
△ロスティーン  
唯だ止すよめさ

コスモスの  
装備を手伝って  
参ります

そ...そ...  
ムムム  
僕...  
コンヤン...

すず...  
甲斐の腹痛が  
...

コスモス...  
何かして...

いいえ。  
金...  
何...

ムムム...  
サ...  
コスモス...  
参...  
...



「コンモンス...  
あつちの...  
しつぱいさかた  
ハラス...」

「ハラス...  
あつちの...  
しつぱいさかた  
ハラス...」

↑  
「コンモンスが...  
あつちの...  
しつぱいさかた  
ハラス...」

「...」



「...  
ハラス...  
あつちの...  
しつぱいさかた...」



「ここが貴女の  
弱点なんだよ  
可能性も大きい  
分析した事も  
あります。」

「？」

「？」

「...  
ハラス...」



「ハラス...  
あつちの...  
しつぱいさかた...」

「私を  
ハラス...  
あつちの...  
しつぱいさかた...」

「あ...」

「ハラス...」

「ハラス...  
あつちの...  
しつぱいさかた...  
ハラス...」

「反論無し」

「申請者ありませう  
ハラス」

どうもです、中島です。  
今回は頁の都合上後書きはこちらから  
こんにちはです。

さてと言う訳で、気が付くとえらい長い事描き続けて居ります  
「俺アレン君。コスモスにヒドい事をしちゃうぜシリーズ」ですが、  
一応今回でお話的には一旦終了という事になります。  
今まで愛想を尽かされる事無くお付き合いを続けて下さいました  
皆様に激しく感謝致しますm(\_ \_)m

さて！次回からはコスモスと同棲して  
キャハウフフな感じのお話しを始められたら良いなあと  
思っておりますので、どうぞ宜敷お願い致します～

また、最近、特に初期のシリーズの総集編的な物をと言う  
有り難い (m(\_ \_)m) ご要望を頂いたりしますので、  
来年中にKLXシリーズ以前の物を纏めるのもありかなと  
考えております。個人的にはそんなにやったっけ？と言う  
感覚なのですが、数えたらショート含めると11冊、  
・・・結構ありますねw  
どうしよう・・・(苦笑)

ではではまたコスモス本でお会い出来ます様！  
皆様良いお年を！

中島 零



## KLX-T5

発行 MANITOU  
発行日 2010年12月31日  
印刷 日光企画様  
連絡先 manitou@pop01.odn.ne.jp

<http://manitou.sakura.ne.jp/>

18歳未満の購入・閲覧や、無断での転載・アップロード等を禁じます。

